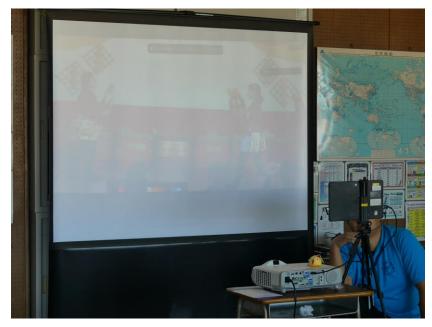
## 【取組内容】 オンラインによる国際交流

### 【取組① Teamsを活用した他国(マレーシア)との交流】

- ・教師用タブレット端末を活用し、Teamsによる他国とオンライン授業を行った。
- ・国際交流における児童の学びや気付きなどについて、コーディネーター的な人材(英会話講師)と、事前に質問内容や披露する演技(各国の文化的なもの)について、話し合った。
- ・多数の児童の様子を映すために、特別教室にてスクリーンとプロジェクターを活用して、交流を図った。



教師用タブレット端末による他国とのオンライン交流



他国の児童に挨拶をする本校の児童 ※スクリーン画面は、他国の児童の様子

# 【取組内容】 オンラインによる国際交流

### 【取組② 地域人材や外部専門家の参画】

- ・オンライン交流の進行などは、コーディネーター的な人材(英会話講師)が務めた。
- ・国際交流でも学びを深めるために、互いの国の文化のよさや違いについて披露した。
- ・日本の文化の一つとして、地域の人材(落語家)を招いた。



落語を披露する地域人材(落語家)



ソーラン節を披露する本校の児童

#### 【学校全体における成果】

- ○Teamsによるオンラインにより、映像や音声が乱れることなく、円滑に他国との交流を図ることができた。
- 〇お互いの国の文化や挨拶、学校のシステムの違いなど、児童にとって初めて知ることが多く、大変効果的であった。
- 〇地域人材(英会話講師・落語家)により、我が国や他国の文化に親しみをもつことができた。